



●先人の言葉から進路を考える

皆さんの口からよく出る言葉「何の役に立つのか」という言葉に答えてみようと思い、一念発起しました。長い説教より、短い格言でしょう。

いちばくじっかん

○一暴十寒

1日暖めても10日冷やしてしまえば何の意味も無い。転じて、少しだけ努力して、あとは怠けることが多いことの例え。皆さんは何日暖め、何日冷やしていますか？テスト直前だけの勉強、先生の前だけの礼儀作法…。「その場しのぎ」することもなく、そもそも暖めないという人もいるかもしれませんね。そういう人は話が違うので置いときます。

既に何回か進路だよりで「その場しのぎ」ではいけないと書いてきました。人生（時間）とはほっといても「勝手に続いていくもの」です。しかし「続いていくもの」の主人公は皆さん自身です。それを意味のあるものとするかどうかは自分がどれだけ熱くなれるか、まずその一点です。一度熱くなっても冷めてしまえば結局成長の無いままです。さて次。

もっこう

○沐猴にして冠す

3年生の皆さん、既に進路が決定している人が出始めてきましたね。おめでとうございます。さて、沐猴にして冠すとは、外見は立派だが、中身は愚かな者をさすことば。また、地位にふさわしくない小人物のたとえ。

なぜこの故事成語を選んだか。3年生は進路を決めて、卒業していく。実に喜ばしいことです。ただ、懸念は、「分かりません」を連発する人、廊下を爆走する人、奇声と大声は立派な人…。そういった人の数が減っていないように思うことです。また、そんな人たちにとって「卒業」はどんな意味を持つのかということです。高校で学ぶべきことは、勉強・社会人としての態度・ルールを守る力…あげればキリがありませんが、皆さんは「出来ない」「苦手」を放置したままなのを良しとしていませんか。能勢高校を卒業するということは「高校生」という背番号をつけて社会に飛び出していくのです。外見は「高校生」でも中身は…とならないように、3年生は卒業式まで残りわずか。1・2年生は今のうちからしっかりと「高校生」の背番号にふさわしい「中身」を用意できるよう努力を重ねていきましょう。

いかがでしょう？ことわざ・四字熟語を元に進路を考える。皆さんが必要あるのかと疑っているであろう「知識」は使えるのです。覚えても意味無いと自分を甘やかすのは結局成長しないのと同じ。「甘いこと」と「優しい」ことは全くの別物です。皆さんにとって重要なことは甘やかす（される）ことではなく、時には辛いことも乗り越えながら、自分で「高校生らしくなる」ことではないでしょうか。

●受験報告書より

3年生の受験報告書を見ると、毎年多く書かれているものがあるので、それらについて解説します。

①学校の志望動機と学部学科専門分野の志望理由は別々で考えておくこと

—これは進学・就職共通ですが、業界と個別の志望動機は別々のはずです。例えば、A大学の法学部に行きたい学生は、「なぜ法学部か」「なぜA大学か」も答えなければいけません。また、Cという自動車メーカーに就職したいなら、「なぜ自動車業界か」「なぜ自動車業界でもC社なのか」を答えなければなりません。

②「進学先の学校で何をがんばるか（志望校の研究）、高校生活3年間で何をがんばったか」を答えられるようにしておくこと。履歴書（志望動機書）に書いたことには何でも答えられるようにしておくこと。

—当たり前ですが、面接官は皆さんのことを知りません。だから、高校時代に努力してきたか（大学等に入ってもそれが続けられるか）、入学しても途中で努力をやめないか（目標があるか）を、「書いてきたもの（履歴書・志望動機書）」で判断するしかありません。ということは、皆さんが「書いたもの」は皆さんが全て詳しく説明できる内容でないといけません。

③適性検査・小論文も重視される。筆記試験が難しい。しっかり準備すること。普段から正しく制服を着ることや敬語を使うことに心がけていれば、自然と身につくので不自然さはなくなると思う。

—1・2年生の皆さん、実力テストはいかがでしたか。1時間目からウトウトしている人、足を動かすのが止まらない人、先生が隣を通ったら隠そうとする人、爪や指をいじるのが止まらない人等々。わずか50分の試験、集中できませんか。就職試験・受験では「試験を受ける態度」も評価の対象ですよ。そして試験は「高校で学んだこと」が問われます。しかし、どこから出るかは未知数。定期試験は、範囲が分かっていますね？その試験で点数が取れないということは、受験・就職試験の本番ではどうなるかは分かりますね？

●進路選択はいつ？

1・2年生の皆さん、自分がどんな進路を選択するかはいつ頃から考え・決定していきますか。進学・就職、大学・専門、文系・理系、国公立・私立…色々なことを「選択」して努力をすれば結果が付いてくる可能性があるのが進路というものです。1・2年生はまだ決まっていない人がほとんどだと思います。しかし、外を見てみれば、高校受験の時点から既に進路を見据えて努力をし続けている人もいます。一日も早く、卒業後どうなりたいかを真剣に考え、悩み、そして努力を重ねて進路実現をめざしましょう。